

竹取新聞

株式会社 カグヤ
東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング
2号館10階



第74版

理念と実践で
絆を結びます

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念をカグヤクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

理念の観える化

実践のきつかけ

磨き合う場

長崎県佐世保市にある、昭徳保育園様にお伺いしました。園では現在「理念あるマニュアル」の作成を進めており、経緯としては日本保育協会の青年部数名で今、各保育園の保育の質や保育の標準化といったところで保育のマニュアルについて研究を行っているそうです。園長の伊藤先生はそれに対して「保育が機械的なものになってしまうのではないか?」ということを懸念され、どうしたらこの機会をより善いものに変えられるかとお考えになっていたのだそうです。そんな中、たまたま園内を整理していた際に数年前に作成した『園の3箇条』というものが出て来て「このような理念や想いがあった上でのマニュアルだったらいいのではないか?」とどう落としどころに辿り着いたのかと伺いました。それからは、職員会議を開



職員会議での話し合いは理念を浸透させていく為の大切な機会になっています。

いて『園の3箇条』をもとに園の理念を定め、深め、想いを確認し合う場を設けて、それ成形にしているのだそうです。「理念・想いの可視化、観える化が必要だと思っています。自分たちの目指す保育がちゃんと浸透するように、想いを込めて理念を可視化していきたい。」と仰る伊藤先生のお姿からは、マニュアル作りと言うよりも、一定の質より理念を大事に出来るような「本質からぶれない園の仕組みづくり」に挑戦していることとす熱意が溢れていました。

長崎県のいちご保育園さんをご訪問し、職員室に入ると『見守る保育の10か条』の写真と条項が掲載されたポスターが大きく張り出されています。「見守る保育の10か条」とは、環境を通して子どもを発達を保障する方法を明記したものです。(※左下参照)

自園のポスターを貼り出していくのはこれからのようですが、職員室を通るたびに先生方が振り返られ、また他園の実践も見ながら保育に当たれるのは、物理的な距離は離れていても同じ理念のもと保育実践をしている仲間をいつも近くで感じられるように思っています。



職員室に貼り出されたポスター

※http://namagaryujuku.com/?page_id=1247

園長の森先生へ経緯をお聞きすると、「見守る保育の10か条」と言っても、文章だけでは理解が難しいです。他園の作成したポスターを通して、条項の意味や子どもたちの姿のイメージを共有するために貼り出しました。また、見守る保育10か条を身近に感じられるように他園が作成したのを見ることで、「では自分たちの園ではどうだろうか?」と考えるヒントにもなり、自園の写真を掲載できるスペースも用意しました。」と仰っていました。



真剣かつ楽しい。そんな学びの場は子どものようにゾーン状態に。

他園の実践がきつかけとなり、新たな実践が生まれる好循環。私たちもそこから新たな実践を始めていけるよう、先生方と一緒に学びを深めていきたいと思えます。

また各地での実践発表を聴いて「今までどこから手を付けて行けばいいのかが分からなかったけれども…自分の地元に戻ってまずは何から始めればいいのか具体的に…だったので良かった。」と言うお声も聴こえてきたりと、皆さんが自園の保育理念や初心を

年に一度、全国の見守る保育実践園の経営者の皆さんが集まる「GTサミット」。今年も例年の定員を大幅に超え、90名近くの皆様にご参加いただきました。

「見守る」とはどういう事なのか。子ども自らの生きる力、育とうとする力を信じるとはどういうことなのか。研修会場では、研修の途中にもかかわらず、「来て良かった!自分達は今実践している事、目指している事が間違っていないんだと実感できた。」とお声が聴こえてきました。

また各地での実践発表を聴いて「今までどこから手を付けて行けばいいのかが分からなかったけれども…自分の地元に戻ってまずは何から始めればいいのか具体的に…だったので良かった。」と言うお声も聴こえてきたりと、皆さんが自園の保育理念や初心を

確認することはもちろん、参加した先生方が各々の地域で、保育を高め合える環境づくりにまで想いを持っていらつしやることに感動しました。そんな皆さんが集まる場は、熱気と思いやり、そして保育に対する誇りに溢れる会場と化していました。懇親会では「一緒に保育を高めていきたいと思います。」と人と人が繋がって行く場となりました。

毎年毎年、この場の力が磨かれて高まっています。来年はどんな場となっているのが楽しみです。

CCN Caguya Company News カグヤニュース

※カグヤでは、クルー同士別々の場所においても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。

駅伝部が発足!

今年4月に、「カグヤ駅伝部」が発足しました。と言っても部員はクルー全員です。

毎朝の練習は、それぞれ自宅や、出張先のホテルの周辺など別々に行っています。別々の場所においても、同じように早朝に起きて朝練している仲間存在を感じられるというのは、とても感慨深いものがあります。

そして、部が発足して5か月。この度ついに駅伝大会へ出場することになりました。



夜の新宿をみんなで駆け抜けます! 流れる汗が心地いい!



大会まで一人で走った "総走行距離"を記録!



1か月で500キロ達成しました!

「一人よりも、みんなでやると楽しい。みんなやると力が湧いてくる。」 そんな大事にしたい気持ちを、駅伝を通じて改めて気付かせてもらっています。

草取り

いつもお客様のところへ訪問する際にお渡ししている「玄米クッキー」。

先日、実際にクッキーの材料のお米が育つ、千葉県の藤崎農場の田んぼへ草取りに行きました。こちらでは、除草剤が使わないため、昔のように人力での除草が必要なため、皆で慣れない草取



自然や生き物に触れ、心も体も元気になります!

りをお手伝いさせて頂きました! 今回なぜ「ひえ」が対象だったかというところ、ちよと今の稲の成長に影響が強いから...というところで、他の草は特に影響が少ないためそのまま残すことに。何でも「敵」として必要以上に排除するわけではなく、沢山の生き物が共生共存している田んぼの様子からは、多様でエネルギーの強さを感じました。草取りをしながら、草だけでなく、クモやバッタ、カエルなど...沢山の生き物を発見し、今回の草取りから、排除せず仲良くすることの豊かさを学ばせて頂いています。

ありがと1000号

日々、カグヤで起こる出来事を、出張中のクルーや、遠く離れているパートナー様にお伝えすべく始まったCCNカグヤdailyニュース。この度、なんと1000号を達成しました!

きっかけは、ひとりのクルーが産休中のクルーへ、社内できった珍事をメールしたこと。初めは事件など何かあった時だけ。それが毎日になり、いつの頃からかパートナーさんにも広がり、今では

一期一会庵

「実践で変えていくこと」

先日、保育環境研究所ギングツリー主催の「G.Tサミット」が東京で開催され新宿せいが保育園 藤森平司園長の講演を拝聴することができました。

特に講演の中で印象的だったのは、「保育はそれぞれだからどんな保育でもいいとは私は決して言いません!」というスピーチです。それを農業の話に例えられました。

「農業でも様々な農法を取り入れていること」を思います。しかし過剰に農業や化学肥料を沢山使って遺伝子組み換えで出来た野菜が提供する方もされる方も、また野菜自体にまで健康を害するとはつきり分かってしまったものをどんな農法でもいいとは言えません。未来の子どもに遺したくない、よくないものをやり方は、個々人のそれぞれだから片づけていいはずはありません!と仰っていました。

私も同感で、明らかに自然を逸脱し本来のあるべき姿からかけ離れてしまっているものを周りがやっていると、世間の常識だからなどといった言葉で見えぬ

出張中の他のクルーからも、特別号の臨時ニュースが届くほどに!

時に迷走し、時に暴走し、紆余曲折を繰り返して辿り着いた1000号。それはカグヤに関わってくださった、ご縁が結んだ奇跡の数。これからも、ひとつひとつ大切に心を向けていこうと思います。



腐敗と発酵を重ねて生まれた1000号!



編集長の智(血)と汗が凝縮されています。

をすることは自分も同じ不正を続けていくことに匹敵することはないかと思えます。

自分の目でみて身体で確かめて良くないと自覚したなら、自らが今までで込み付いた価値観を手放し自らの生き方から変えていく必要があるように思うのです。

子どもに善くないものを自分たちの世代で手放す覚悟や、これ以上子どもに遺したくないものを続けることを、何よりも重要なことであると思うのです。祖先や子孫に申し訳ないことをしないために後世になつて取り返しがつかないことをやめる決断が今こそ必要だと思えます。

カグヤはこれからも生き方を見直しつつ、子どもに譲りたい未来のために自分たちを実践で変えていくことに精進していきたいと思

編集後記

今月もご愛読頂き、ありがとございます。今月も沢山の出会いを頂きました。想いを共有し、繋いでいく実践に、改めて仲間を感じる一か月となりました。季節の変わり目、皆様お身体にお気をつけてお過ごし下さいませ。

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます。



本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月~金 9:00~18:00
(土・日曜祝祭日を除く)